

■施策評価シート 18-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-①	施策名	農業経営の強化	

施策の概要

農業を支える人材の育成・確保を進めるとともに、担い手への農地の集積・集約を図ります。

成果指標(単位)	認定農業者数(件)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	61	62	63	64
実績値	61	61	61	63	59

成果指標実績に対するコメント

新たな認定農業者数が2件増えた一方で、高齢化による離農などにより令和6年度の認定農業者数は59件となり、令和5年度から4件減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価

農業者への各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めたほか、中心経営体および新規就農者に対する補助金や、認定農業者制度についての周知等を通じて、担い手の育成を図った。また、農地の集積・集約を図ることを目的として、地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)を策定し、10年後の農地利用のあり方を示した。

評価に基づいた令和8年度の実施についての考え方

新規の認定農業者を増やすため、認定のメリットとなる施策や支援の周知を図るとともに、多様な担い手を含めた新規の農業者確保の実施を進める。また、農地の集積・集約に向けて、地域ごとに担い手会議や全体会議を開催し、地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の見直しを進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水田営農推進事業	農林水産課	○	農林行政協力員の協力を得ながら、各集落に各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めた。
担い手育成支援事業	農林水産課	○	中心経営体に対する農業用機械の購入費用や新規就農者に対する経営開始資金等の補助金を通じて、担い手の育成を図った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境保全型農業支援事業	農林水産課
畜産振興対策事業	農林水産課
農業者年金運営事業	農業委員会事務局

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 18-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-②	施策名	農地の保全・管理	

施策の概要

草津用水事業を促進し、営農環境の整備を進めるとともに、未整備地域の整備や優良農地の確保など、農地の保全に努め、農業経営の基盤づくりを図ります。

成果指標(単位)	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業取組団体の活動面積(ha)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	529	549	549	549
実績値	526	524	524	524	524

成果指標実績に対するコメント

世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業の活動面積は前年度から減少がなく、現状の面積を維持することができたが、新規の加入組織を掘り起こすことができなかった。

施策の達成度評価

地域や土地改良区に対して補助金を交付することで、農地の保全を図るとともに、草津用水を始めとした関係機関と連携しながら、営農環境の整備を推進した。また、県営馬場山寺基盤整備事業の実施にあたり各種支援を行った。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

土地改良事業に係る各種支援や土地改良区との連携により、農地および農業用施設を地域と共に保全・管理できる体制整備を図っていく。また、県営馬場山寺基盤整備事業の推進のため、引き続き支援する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
農業振興地域整備計画策定事業	農林水産課	○	草津市農業振興地域整備計画に基づき、農業振興地域内農用地の無秩序な農用地のかい廃を防いだ。
土地改良区事業費補助金事務(草津用水・北山田畑地)	農林水産課	○	土地改良区が実施する土地改良事業に対する支援により、農業用施設の機能維持および更新に努めた。
土地改良事業費補助金事務	農林水産課	○	地域主体で取り組む土地改良事業に対する支援により、施設の機能維持および更新に努めた。
馬場山寺基盤整備推進事業	農林水産課	○	土地改良区を支援し、換地、評価作業に取り組んだほか、県営事業として実施設計業務に必要な経費の負担を行った。
農業多面的機能発揮促進事業	農林水産課	○	農業・農村の有する多面的機能を維持するため、交付金を交付することで地域の共同活動を支援した。
県土地改良事業費負担金事務	農林水産課	○	県営で実施する農業用水管更新事業の事業費を負担することで、安定的な農業の確立を目指した。
農業委員会運営事業	農業委員会事務局	○	農業委員等と連携し、「遊休農地の解消」、「担い手への農地利用集積」、「新規参入の促進」に向けた取組を行った。

■施策評価シート 18-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
土地改良事業推進対策事務	農林水産課
ほ場整備地元負担軽減補助金事務	農林水産課
人・農地問題解決加速化支援事業	農林水産課
土地改良施設維持管理事業	農林水産課
土地改良事業関係団体負担金事務	農林水産課
農地中間管理事業	農林水産課
有害鳥獣捕獲事業	農林水産課
農地基本台帳整備事業	農業委員会事務局

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■施策評価シート 18-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-③	施策名	地場産物の需要・販路拡大	

施策の概要
地産地消を推進し、地場産物の認知度向上等、生産者と消費者の結びつきを強め、地場産物の需要・販路拡大に努めます。

成果指標(単位)	地元の農産物を購入するよう心がけている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	52.4	52.9	53.4	53.9
実績値	51.9	44.4	45.5	46.5	40.3

成果指標実績に対するコメント
令和6年度も「草津ブランド市」や「草津あおばなフェスタ」、湖南農業高校と連携した「次世代マルシェ」などのイベントを開催し、草津の農産物のPRに努めたが、令和5年度よりも6.2ポイント減少し、目標値である53.9%には13.6ポイント不足し、目標値未達となった。

施策の達成度評価
道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて地産地消の取組を進めるとともに、関係機関が連携してイベント等での草津の農産物のPRに努めた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方
物価高騰の影響による買い控えなど、消費者の購買行動等が変化するなかでも、草津の農産物のPRに努めるとともに、道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて、地産地消の取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
「道の駅草津」管理運営事業	農林水産課	△	農業振興の拠点施設として、適切に管理運営を行い、地場産物の販売拡大に努めた。 令和6年度に予定していた基本設計業務については、道の駅の敷地拡大や施設の増設が可能になるなど状況が変化したため、これらを踏まえた再検討を行ったうえで、令和7年度に実施することとした。
草津ブランド力強化事業	農林水産課	○	草津あおばな会と連携し、草津市市制施行70周年記念事業として、アオバナの歴史や民話、これまでの草津市の取組等を題材としたDVDを制作し、お披露目を実施するなど、普及啓発に努めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業振興対策事務(たんぼのこ体験事業)	農林水産課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 18-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-02-①	施策名	漁業環境の保全・確保	

施策の概要
漁港の適正な管理を行い、漁業環境の保全・確保に努めます。

成果指標(単位)	漁獲量(kg)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	19,964	19,306	18,669	18,053
実績値	20,645	16,524	16,018	12,868	14,507

成果指標実績に対するコメント
令和6年度の漁獲量実績は14,507kgとなり、令和5年度より1,639kg回復したものの、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
漁業者の減少により成果指標の目標値を達成することはできなかったが、指定管理者により適切な漁港管理を行うとともに、琵琶湖一斉清掃によるゴミの回収や、水産多面的機能発揮対策事業による水草除去などの漁場環境の保全活動により、在来魚が生育しやすい環境づくりに努めた。

評価に基づいた令和8年度取組についての考え方
引き続き、指定管理者により適切な漁港管理を行うとともに、琵琶湖一斉清掃によるゴミの回収や、水産多面的機能発揮対策事業による水草除去などの漁場環境の保全活動により、在来魚が生育しやすい環境づくりに努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
漁港管理事業	農林水産課	○	指定管理者による適切な漁港管理を行うことができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 18-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-02-②	施策名	漁業・水産資源の多面的利活用の促進	

施策の概要

水産まつりでの体験型イベントの開催や着地型観光などによる、漁港の利活用や地場産物の消費拡大に努めます。

成果指標(単位)	北山田・志那漁港の漁獲高(万円)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	910	880	851	823
実績値	941	886	665	512	513

成果指標実績に対するコメント

漁業者の高齢化に伴い休業者が増加する中、令和6年度の漁獲高実績は令和5年度からほぼ横ばいの513万円となったものの、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価

草津水産まつりの開催により、漁港の利活用や消費拡大に努めた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き、草津水産まつりを開催するとともに、着地型観光を含めた漁港の利活用や地場産物の消費拡大に向けて、水産事業従事者と協議していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水産振興協議会活動補助事業	農林水産課	○	草津市水産振興協議会に対する補助金の交付により、水産振興を図った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	商工観光
基本方針	中心市街地の活性化	基本方針に関連するSDGsの目標	8 17
施策番号	19-01-①	施策名	中心市街地のにぎわいの創出

施策の概要

中心市街地エリアの活性化を図るため、これまで整備を行った拠点施設への集客から中心市街地での回遊性を生み出し、官民連携のイベント実施や新規出店の促進等により、にぎわいの創出に取り組みます。

成果指標(単位)	「中心市街地の活性化」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	22.3	25.3	28.3	31.3
実績値	21.3	22.6	22.3	30.8	25.4

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「中心市街地の活性化に満足している市民の割合」は、前年度に比べ5.4ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。中心市街地の周辺地域住民からは満足度が高まっているが、郊外地域から中心市街地へのアクセス性などから、郊外地域住民からの実感は薄く、満足度が低くなっていると考えている。

施策の達成度評価

草津まちづくり株式会社や中心市街地活性化協議会など官民が一体となった取組により、大規模商業施設と商店街との連携が深まり、草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)に掲げた3つの指標(歩行者通行量、施設利用者数、営業店舗数)は基準値(平成29年)から増加しており、一定の効果が見られた。一方で郊外地域住民からの評価が低いいため、郊外地域にも中心市街地活性化の効果を感じてもらうことが課題と考えている。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

これまでの取組により、草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)に掲げた3つの指標(歩行者通行量、施設利用者数、営業店舗数)は増加しているものの、意識調査では市民が実感していないという点に課題がある。特に郊外地域住民の満足度が低いことから、草津市版地域再生計画に基づく各学区のまちづくりプランにおいて、中心市街地へのアクセス性の向上を検討する必要があると考えている。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(商工費)	都市地域戦略課	△	草津まちイルミの開催を支援するとともに、店舗改修の一部に補助金を出すことで、魅力的な店舗の誘致を行い、中心市街地のにぎわいを創出したが、成果指標を達成することができなかったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	商業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-02-①	施策名	地域商業の活性化	

施策の概要

地域の商業を活性化させるために、草津商工会議所をはじめ地域経済団体や関係団体と連携しながら、商店街の振興や草津ブランドの育成等を図ります。

成果指標(単位)	買物する環境が整っていると思う市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	74.0	74.5	75.0	75.5
実績値	73.7	75.8	76.6	77.3	76.1

成果指標実績に対するコメント

本市の人口動向を踏まえて郊内外の商業施設の整備が進められたことにより、買い物環境が充実したことが目標を達成した要因と考える。

施策の達成度評価

草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体と連携したくさつ華あかりフェスタやみなくさまつりなどの実施および草津ブランド認証品を中心とした市内の特産品の啓発等を行うことにより地域商業の活性化を図った。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

草津商工会議所や草津市商店街連盟などの地域に根差した地域経済団体などとの連携を図りながら、消費者の購買行動の機運醸成に繋がる地域イベント等の支援をはじめとして、引き続き、地域商業の活性化を推進する。また、草津ブランド認証品をはじめとした市内の特産品等の啓発を強化し、市内事業者のさらなる販路開拓および新たな商品開発等を行える環境づくりに努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
商工団体等活動費補助事業	商工観光労政課	○	草津商工会議所をはじめとした商工団体や地域商業の活性化を図ることのできる事業への支援を行うことで、市内商業の活性化を図ることができたため。
商店街活性化推進事業	商工観光労政課	○	くさつ華あかりフェスタの開催への支援やくさつ夢本陣の運営を行うことで商店街等の活性化を図ることができたため。
草津ブランド強化事業	商工観光労政課	○	草津ブランド認証品を中心とした機運醸成イベントを開催するなどの啓発を行うことで販路開拓や本市のPRを図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
商工業事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	8 9 11 17
施策番号	19-03-①	施策名	中小企業等への支援	

施策の概要

草津商工会議所などの地域経済団体および金融機関や大学等の関係機関と積極的に連携しながら、優れた技術等を有する企業等の販路開拓・拡大の支援や企業訪問活動等を通じたビジネスマッチングなど、市内の中小企業等のニーズに応じた支援を行います。

成果指標(単位)	コーディネータによるマッチング成立件数(件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	40	40	40	40
実績値	53	51	50	31	29

成果指標実績に対するコメント

草津イノベーションコーディネータ(略称:KIC)を中心に企業訪問活動を行うとともに、草津商工会議所や立命館大学等の関係機関との連携・協力のもとで、ビジネスマッチングの促進や支援制度の活用促進に取り組んだ結果、令和3年度から令和6年度までの実績値の合計は161件となっており、目標値の合計(160件)に達しているものの、令和6年度のマッチング件数は29件(支援機関10件、産学間2件、企業間17件)となり、目標値を下回っていることから、継続的に企業のニーズに応じたマッチングの成立につながるよう、情報収集とともに、企業間の接点生まれやすい環境づくりを支援していく必要がある。

施策の達成度評価

KICによる活動を通じて、企業間ビジネスマッチングや国県等の補助制度の活用の実現などに繋がるなど、目標値達成には至らなかったものの、中小企業のニーズに応じたマッチング支援を行っていることから、地域経済の活性化や事業者同士の協力関係の創出といった一定の成果を得ることができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き、企業訪問活動等や関係機関との連携・協力を図りながら、企業のニーズに応じた支援・サポートに取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ビジネスサポート推進事業	商工観光労政課	○	目標値を下回る実績(29件)となったものの、企業ニーズに応じたマッチングを実施できており、一定の成果はあったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-03-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	商工観光
基本方針	工業の振興	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-②	施策名	企業の立地促進

施策の概要

限られた立地適地の中、本市の企業立地の優位性を生かし、企業の集積を図るとともに、必要な立地促進施策に取り組みます。

成果指標(単位)	企業立地促進助成事業者として指定決定を行った件数(件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	1	1	2	2
実績値	1	1	2	1	4

成果指標実績に対するコメント

市内における企業の立地・集積を促進するため、草津イノベーションコーディネータ(略称:KIC)による企業訪問活動や市ホームページ等を通じて情報発信、工場等設置助成金以外の税制支援制度(先端設備等導入計画など)の申請者へ紹介を行った結果、4件の指定決定を行うことができ、一定の成果があったものとする。

施策の達成度評価

目標値を上回る4件の指定決定を行うことができ、一定の成果があったものとするが、市内の企業立地適地が不足している状況を踏まえ、令和6年度より新たな産業用地創出に向けた候補地の選定や企業ニーズ調査等を実施しており、令和7年度も引き続き継続して取り組む必要がある。

評価に基づいた令和8年度の実施についての方針

市内に工業系用途地域の未利用地が少なく、工場や研究所等の新たな立地適地が限られた状況となっていることから、新たな立地適地の創出に向けた検討を行い、市内事業所の立地集積・設備投資を促進するとともに、令和7年度に策定予定の「産業用地創出方針」に基づき、令和8年度以降に企業立地に向けた具体的な取組を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
企業立地推進事業	商工観光労政課	○	企業立地促進助成事業者の指定決定(4件)を行い、企業の立地集積の促進に取り組むことができた。
企業立地推進事業	企業立地推進室	○	新たな産業用地創出に向けた調査業務を実施し、適地選定や企業ニーズ調査を計画どおり実施することができたため。(令和7年度も継続)

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-03-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-③	施策名	新産業の創出と創業・第二創業等の支援	

施策の概要

技術力の高い市内企業等の集積を生かすとともに、インキュベーション施設などの支援機関等の活用により、産学官連携のさらなる促進に取り組み、新たな産業と雇用の創出を促進します。

成果指標(単位)	大学連携型起業家育成施設入居企業補助金を活用し、施設に入居した新規事業者数(事業者)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	3	4	4	3	1

成果指標実績に対するコメント

立命館大学BKCインキュベータに入居し、起業または新規事業展開を図ろうとする方に補助を行っており、市ホームページや草津市事業者支援制度一覧(リーフレット)で本施策について周知に努めた結果、令和3年度から令和6年度までの実績値の合計は12件となっており、目標値の合計(12件)に達しているものの、令和6年度の新規入所者数は1件となり、目標値を下回っていることから、継続して新規入居者数を確保するため、立命館大学および中小企業基盤整備機構と連携し、周知体制を強化していく必要がある。

施策の達成度評価

目標値には至らなかったものの、次年度以降の申請予定の相談もあり、一定の成果があったものとする。引き続き、県や立命館大学、中小企業基盤整備機構と連携しながら、補助要綱に基づき補助を行い、経済基盤が脆弱な起業家等の負担軽減を図り、新たな産業の創出促進に寄与する必要がある。

評価に基づいた令和8年度の実施についての方針

引き続き技術力の高い企業の集積と定着を図るために起業家支援を行い、入居者への補助件数増加を目指す。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
産業振興審議会運営事業	商工観光労政課	○	目標値達成には至らなかったものの、次年度に向けて継続的に相談を受けていることから、一定の成果はあったと言えるため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-04-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	観光の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-04-①	施策名	地域観光の活性化	

施策の概要

地域の観光を活性化させるために、観光事業者、草津市観光物産協会、関係団体等と連携しながら、地域の特性を生かした魅力ある観光事業を展開します。

成果指標(単位)	観光入込客数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	2,645,000	3,160,000	3,192,000	3,224,000
実績値	2,130,400	2,206,676	2,729,254	2,948,110	2,879,019

成果指標実績に対するコメント

観光入込客数が多い矢橋帰帆島公園の遊具使用制限や、草津川跡地公園等の屋外施設において、酷暑により利用者数が減少したことで目標値には達さなかったが、コロナ禍以前の水準までに回復しつつある。今後も引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携をし、観光振興へ向けた取組を進める。

施策の達成度評価

(一社)草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会などの関係団体と連携を図りながら、地域の特性を生かした観光事業を実施することで、本市の観光振興を推進することができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

着地型観光事業等を通して新たな観光資源の発掘や磨き上げ、SNSやHPでの情報発信を積極的に行い、引き続き観光振興に努める。また、イベント等については、引き続き、草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会と連携しながら、本市の特性を活かした魅力ある環境づくりに取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
観光物産協会観光振興活動費補助事業	商工観光労政課	○	(一社)草津市観光物産協会への支援を通じて、地域観光資源推進事業や着地型観光事業などを実施し、本市の観光振興を推進したため。
宿場まつり開催費補助事業	商工観光労政課	○	市制施行70周年を記念し、5年ぶりに東海道筋での時代行列や他市町との交流創出、当市団体などによるパフォーマンスやブースなどを設け、幅広い世代に楽しんでもらったため。
観光宣伝事業	商工観光労政課	○	草津市を訪れる方々に対し、観光案内を行うことで、本市の魅力発信を行うことが出来たため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
烏丸半島維持管理事業	公園緑地課
観光振興事務	商工観光労政課
広域観光事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 19-05-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	勤労者福祉の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	19-05-①	施策名	勤労者への支援	

施策の概要

勤労者福祉の向上を図るため、「草津市勤労者福祉基本方針」に基づき働き方改革に取り組みながら、勤労者の福祉の増進に向けた支援を図ります。

成果指標(単位)	勤労者福祉団体が実施する各種事業利用者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	3,900	5,150	6,400	6,450
実績値	3,915	4,300	5,974	7,091	7,043

成果指標実績に対するコメント

補助金を交付している各勤労者福祉団体が実施する各事業について、利用数はコロナ以前の水準を上回り、前年度と同程度の実績となっている。

施策の達成度評価

草津市勤労者福祉サービスセンターおよび草津・栗東地区労働者福祉協議会が実施する勤労者福祉事業に対する支援を行った結果、各団体の実績値は事業展開の工夫もあり、目標値を上回る成果を得た。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き勤労者福祉団体への補助金を交付し、勤労者福祉の向上に資する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
勤労者福祉団体育成事業	商工観光労政課	○	コロナ以前の水準を上回る利用者数の増加がみられ、各種団体の勤労者福祉の向上を図ることができたため。
市民交流プラザ運営事業	商工観光労政課	○	安全安心な施設の運営に努め、市民活動や各種団体の活動支援ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民交流プラザ施設維持管理事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	11 15 17
施策番号	20-01-①	施策名	土地利用の適切な誘導

施策の概要

都市基盤施設と宅地の一体的な整備を進めるとともに、都市計画法等に基づく指導等を行うことにより、適切な土地利用の誘導を図ります。

成果指標(単位)	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		17.0	18.0	19.0	20.0
実績値	16.3	21.2	19.4	19.5	21.0

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合は、前年度に比べ1.5ポイント増加し、目標値を達成することができた。開発審査等の手続きを適正に進め、適切な土地利用の誘導を図った結果、都市と住環境の質や魅力に対する市民の一定の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

法令に基づき一定規模以上の土地の売買にかかる届出事務を行うことで、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導を図ることができた。また、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則などに則った開発審査事務を行うことで、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

引き続き、法令等に則って適正に届出や申請がなされるよう周知していく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の実施についての方針

引き続き、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務などを通じて、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導や良好な環境の確保と調和のとれた土地利用に努め、持続可能な都市構造を実現、維持していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土利用計画法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うものであり、令和6年度は18件の届出について、内容確認および県への経由事務を適正に行うことができた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、令和6年度においては79件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地籍調査事業	土木管理課
特定旅館建築規制事務	建築政策課
土地地区画整理事業	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-②	施策名	良質な住宅資産の形成

施策の概要

長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給促進に加え、既存住宅の適切な維持管理やリフォーム促進により良質な住宅ストックを形成することにより、次世代にも継承される住宅資産への転換を進め、良質な住宅の安定供給・有効活用を図ります。

成果指標(単位)	住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	72.0	73.0	74.0	75.0
実績値	71.1	69.1	70.4	69.8	72.2

成果指標実績に対するコメント

目標値には達しなかったものの、前年から2.4ポイント増加しており、住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合は増加傾向にある。
今後も、引き続き現在の施策を推進するとともに、より効果的な施策の検討を図ることで住まいの環境がよいと感じてもらえるように取り組んでいく必要がある。

施策の達成度評価

長期優良住宅等の良質で安全な住宅の供給は着実に進んでいるところであり、市民等への普及啓発が進んでいるものと評価する。また、老朽化した住宅や耐震基準を満たさない住宅の適正管理等についても、引き続き啓発、指導に取り組むこと等を通じて、良質な住宅資産の形成を図っていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の実施についての方針

引き続き、長期優良住宅等の供給促進および、既存住宅の適切な維持管理やリフォーム促進等に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築政策課	○	建築確認申請に適正に対応する等、特定行政庁としての事務を遂行した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	市営住宅課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-③	施策名	空き家等の対策の推進

施策の概要

空き家等の適正管理や有効活用の促進により、防災・衛生・景観等の生活環境への影響を抑制するとともに良好な住環境を確保していくための対策の推進を図ります。

成果指標(単位)	都市と住環境の質・魅力向上に重要性を感じている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	49.0	50.0	51.0	52.0
実績値	47.8	57.3	56.6	57.8	55.5

成果指標実績に対するコメント

前年度と同様に目標値を上回ることができた。今後も引き続き、草津市住生活基本計画に基づき、空き家等の適正管理に取り組むことで、都市と住環境の質・魅力向上を推進していく必要がある。

施策の達成度評価

県内不動産団体と連携し、住宅の相続セミナーや空き家相談員派遣事業を進めた結果、空き家等の適正管理や有効活用の促進を図ることができた。今後も、引き続き空き家等にかかる啓発や支援の推進を通じて、都市と住環境の質・魅力向上を推し進める必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き、草津市住生活基本計画に基づき、空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進等に向けた啓発や支援に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
住宅政策推進事業	建築政策課	○	空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進にかかる事業を推進した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-①	施策名	にぎわいのある市街地の形成	

施策の概要

市民が生き生きと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいあるまちを目指すため、公共空間の活用による都市魅力の構築、歴史的まちなみや地域資源の活用、交流の促進等により、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	35.2	38.9	41.7	45.7	41.7

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合」は前年度に比べ4.0ポイント減少したが、目標値は達成した。公共空間を活用したイベントを行うなど、まちなかのにぎわいを継続的に創出するとともに、「草津駅周辺エリア未来ビジョン」を策定し、草津駅周辺のまちづくりについてビジョンを示したことに対して、市民が評価したものとする。

施策の達成度評価

「中心市街地活性化基本計画(第2期)」に基づいたハード整備事業は計画どおり進捗し、市立プールが開業したことで、中心市街地活性化計画の指標である「健幸・観光・交流施設の利用者数」は大幅に増加するなど効果が見られた。今後は、整備された施設を活用したソフト事業を行い、にぎわいの効果を施設周辺へと波及させていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

令和6年度に策定した「草津駅周辺エリア未来ビジョン」にて、草津駅周辺のめざす将来像を示すことができたことから、「くさつまちなかエリアプラットフォーム」を中心に、官民で協議・連携しながら、めざす将来像の実現に向けて各種事業を進め、にぎわいの効果を波及させていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(土木費)	都市地域戦略課	○	「草津駅周辺エリア未来ビジョン」を策定し、草津駅周辺のまちづくりについて官民共通の指針を示すことができ、まちなかの魅力向上に寄与することができたため。
都市計画推進事業	都市計画課	○	草津市都市計画マスタープラン等に基づき、各種事業を実施した結果、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課
市街地街づくり推進事業	都市地域戦略課
都市計画推進事業	都市地域戦略課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-②	施策名	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進	

施策の概要

新たな交流の創出、生活機能の確保や産業の振興等、さらなる活性化を図るため、郊外部における地域の特性と資源を活かします。

成果指標(単位)	まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(%) (志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		15.9	16.9	17.9	18.9
実績値	14.9	17.1	19.1	15.9	18.0

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)」は、前年度から2.1ポイント増加したが、目標値を下回った。学区毎の満足度においても、老上学区・笠縫東学区を除いた5つの学区について目標値に届かない結果となった。「まちづくりプラン」について、志津学区、笠縫学区では、地域との協議・調整の結果、第2期プランの策定は次年度に行うこととしたことで、地域再生の推進が鈍化した印象を与えてしまったことが要因と考えられる。

施策の達成度評価

志津学区、笠縫学区において、予定していた第2期プランの策定を次年度に行うこととした。一方で、山田学区では市街化調整区域における地区計画制度を活用した商業施設の設置が進み、また老上西学区では矢橋帰帆島の活性化に向けたワークショップが継続的に開催されるなど、地域再生に向けた取組を進めることができ、一定の効果が見られた。まちづくりプランに基づいた取組は着実に進められており、取組の効果を住民の実感に繋げていく取組を行っていくことが必要である。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

各学区がまちづくりプランに基づいた取組をこれまで進めてきた結果、課題を解決しながら、地域再生の推進が図られてきた。引き続き、行政と地域が協働して取組が円滑に行える体制づくりを行い、さらなる取組を進めるとともに、第2期まちづくりプランを策定する過程で、これまでの成果や課題、地域の将来像を多くの住民と共有できる場を設け、地域再生に向けた取組を住民に実感してもらうことに努めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域再生推進事業	都市地域戦略課	△	志津学区、笠縫学区において、予定していた第2期プランの策定を次年度に行うこととしたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	良好な景観の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	11 15 17
施策番号	20-03-①	施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成

施策の概要 景観形成重点地区の活用等により、豊かな自然景観や歴史文化の薫るまちなみの保全・活用、心地よさを感じる都市景観の創出に取り組み、ふるさと草津の心を育む景観形成を図ります。
--

成果指標(単位)	「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		22.0	23.1	24.2	25.3
実績値	20.9	19.0	17.3	19.5	22.0

成果指標実績に対するコメント 市民意識調査の結果、「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合は、目標値に達することができなかったが、前年度より2.5ポイント増加した。 景観計画や屋外広告物条例に基づく指導に加え、東海道草津宿本陣通りにて実施するファサード補助制度の推進などで歴史的まちなみ景観への誘導支援を図ってきたこと、また、大津市との連携施策として視点場の整備や東海道統一案内看板設置など、琵琶湖の眺望景観や東海道の歴史景観の保全・活用にむけた取組を継続してきた。
--

施策の達成度評価 草津市景観計画に基づく届出により、景観形成基準に適合する建築物および工作物に制限することで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進めることができた。また、景観形成重点地区における基準に基づき、建物や工作物の新築・改修の際に、より質の高い整備を求めることから、それに係る経費を補助し、歴史街道の景観形成に継続して取り組む必要がある。
--

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方 引き続き、景観計画に基づく指導を行うことで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進める。また、改定景観計画をもとに、市民や事業者等、景観づくりに取り組む各主体と連携し、良好な景観形成の実現に向けて総合的な景観づくりを進める。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	屋外広告物の適正な管理と効率的な事務を行い、文書・口頭による申請指導や是正指導を進めた。
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	景観計画に基づく指導等を進めることで、良好な景観形成を進めた。また、前年度作成した景観計画の骨子をもとに、景観計画を改定した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 21-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-01-①	施策名	公園・緑地の整備	

施策の概要

みどりの基本計画に基づき、市民ニーズを踏まえた都市公園の整備を計画的に進めます。

成果指標(単位)	公園・緑地面積(ha)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.4	92.2	92.3	94.4
実績値	91.4	91.5	92.2	92.5	94.7

成果指標実績に対するコメント

住宅地開発に伴う児童遊園の増加と、草津川跡地公園(区間4)(草津市立プール)の供用開始に伴い、公園面積が前年度比2.2ha増加し、目標を達成することができた。

施策の達成度評価

令和3年度に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき各種事業を推進した結果、野路公園の整備に向けた一部用地取得を行うなど、一定の成果が見られた。今後は、野路公園の整備に向けて地権者等と更なる調整を進める必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

市民ニーズを踏まえた都市公園の整備を計画的に進めるため、令和8年度は野路公園について地権者との協議を行い、用地取得等を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
野路公園整備事業	公園緑地課	○	地域および地権者との協議を行い、一部、用地を取得することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 21-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-01-②	施策名	公園・緑地の活用	

施策の概要

公園に対する市民ニーズの多様化に対応できるよう、市民参加による公園の再整備や公園施設の計画的な改修、更新を行います。

成果指標(単位)	公園再整備箇所数(箇所／年)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	11	9	4	6	3

成果指標実績に対するコメント

市内の公園を計画的に再整備し、目標を達成するとともに、町内会からの要望等を踏まえ、公園の機能・役割について調整を重ね、市内の公園を再整備した結果、公園の利用環境向上に繋げることができたと考える。

施策の達成度評価

令和3年に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき、各種事業を推進した結果、公園再整備および維持管理に関する取組については、地元町内会の協力を得るなどの市民参加が実現でき、一定の効果が見られた。植栽や施設などの老朽化が目立つ公園施設については、引き続き、計画的な再整備を実施できるように検討する必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

これまでに引き続き、地元要望を踏まえた計画的な再整備が必要であり、令和8年度は、地元要望を踏まえ、市内公園の再整備工事を行うとともに、指定管理者制度を導入している施設については、引き続き、安全・安心に利用していただけるよう事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ロクハ公園運営事業	公園緑地課	○	老朽化のため休止した施設があったものの、安全に運営することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
児童公園等維持管理事業	公園緑地課	○	地元の町内会等の協力を得ながら、草刈り等の日常の公園維持管理を実施できたほか、計画的に公園の再整備を実施した結果、市民協働の公園維持管理ができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
弾正公園運営事業	公園緑地課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
みずの森管理運営事業	公園緑地課	○	各種イベントや展示会等を計画的に実施した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
野村公園運営事業	公園緑地課	○	プロスポーツの誘致や指定管理者の自主事業を実施した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公園関係団体負担金事務	公園緑地課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった

○ 期待どおりの成果があった

△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 21-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-01-③	施策名	まちなみ緑化の推進	

施策の概要

公園等のオープンスペースを拠点として、市民等との協働によるガーデンシティを推進することで魅力のある景観を構築していくとともに、緑化フェア等を通じたまちなみ緑化の普及啓発を行います。

成果指標(単位)	ガーデニング活動延べ人数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	514	524	534	544
実績値	504	501	762	572	599

成果指標実績に対するコメント

公園等のオープンスペースを拠点としたガーデニング活動延べ人数は、前年度より27人増加し、目標値を達成することができた。天候に恵まれ、ほぼ予定通りに活動が開催されたことが、目標値の達成に繋がったと考えられる。

施策の達成度評価

令和3年に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき各種事業を推進した結果、ガーデニング活動の参加者が増加した。引き続き、市民にガーデニングや、まちなみ緑化に関心を持ち参加いただけるように、広報活動の充実などにより魅力を発信していく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

これまでの取組により、一定のガーデニング活動延べ人数がいるものの、活動者の高齢化が課題であり、多様な世代の人に参加してもらえる魅力ある活動となるよう環境づくりを推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ガーデニング推進事業	公園緑地課	○	ほぼ予定通りに活動日を確保することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
緑化推進事業	公園緑地課	○	緑の募金活動の実施により、緑化啓発を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 21-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	公園・緑地
基本方針	草津川跡地の空間整備	基本方針に関連するSDGsの目標	3 11 15 17
施策番号	21-02-①	施策名	草津川跡地の整備

施策の概要

にぎわいが創出され、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくために、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。

成果指標(単位)	「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	41.8	41.9	42.0	42.1
実績値	41.7	40.6	42.7	36.5	39.5

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、草津川跡地の空間整備に満足している市民の割合は、39.5%で、目標値を2.6ポイント達成することはできなかったが、令和5年度と比較すると、3.0ポイント増加している状況であり、今後は、公園における市民活動やイベント開催の更なる活発化を行うことにより、公園の管理運営に対する市民の満足度を向上していきたいと考える。

施策の達成度評価

区間4JR琵琶湖線草津川トンネル交差部の道路拡幅整備完了後に、道路付帯施設(広場)の管理を行った。
また、区間6の整備については、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めることができた。
草津川跡地公園(区間2、5)においては、指定管理者による管理により、公園の良好な環境を維持するとともに、公園のオープンスペースを活かした取組を市民活動団体や民間事業者等と連携して実施できた。
各種団体の断続的な活動ではなく、持続的な活動が公園の魅力を高めていくため、引き続き、きめ細かな対応を行い、多くの方が関わる魅力的な管理運営を行う必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

これまでの整備や管理運営により、市民意識調査や指定管理者による公園利用者アンケートで一定の評価をいただいており、公園の空間利用や市民活動団体、民間事業者の持続的な活動を実施していくため、令和7年度も公園のさらなる活用や有効的な利用が行えるよう検討を進める。また、区間6については、関係機関と連携を強化しながら整備を行うとともに、賑わいの創出や公園利用者の利便性向上といった持続可能な管理体制を構築するため、民間事業者の誘致を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津川跡地整備事業	草津川跡地整備課	○	区間4JR琵琶湖線草津川トンネル交差部の道路拡幅整備完了し、また、区間6では関係機関と連携して整備を進めることができたことから、期待通りの成果を得ることができたため。
草津川跡地公園運営事業	草津川跡地整備課	○	区間4JR上部の道路付帯施設(広場)の管理を開始し、また、草津川跡地公園(区間2、5)において、公園のオープンスペースを活かした取組を市民活動団体や民間事業者等と連携して実施した結果、期待通りの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 22-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	9 17
施策番号	22-01-①	施策名	まちづくり情報の提供	

施策の概要

まちづくりの活性化を図るため、地域の課題解決や、市民公益活動団体の活動を支援するための情報を提供します。

成果指標(単位)	中間支援組織が運営する地域ポータルサイトのアクセス数				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	7,500	8,300	9,100	9,900
実績値	6,642	9,947	17,536	19,687	26,648

成果指標実績に対するコメント

中間支援組織が運営する地域ポータルサイトのアクセス数は、目標値を大きく上回る結果となった。主な要因としては、コロナ禍が明け、各種イベントの開催数が回復したことにより、まちづくり機器の貸出の利用が増えたことや、ひとまちキラリの助成枠を増やしたこと、公式SNS(facebook、Instagram、LINE)でのイベント情報周知に力を入れたことが考えられる。

施策の達成度評価

町内会長まちづくり・ひとづくりシンポジウムでは、「持続可能なまちづくり」と題した基調講演を行い、町内会活動の課題に対する解決事例の情報提供を行った。また、随時、町内会長からの相談に応じて戸別訪問を行うなど、地域住民の持続可能なまちづくりを支援した。また、令和5年度に開設した、市民総合交流センター5階の協働ひろばの公式SNS(Instagram、LINE)を活用し、市内でのイベント情報等を随時発信することで、市民がまちづくり活動で必要とする情報の提供に努めた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

町内会長全体説明会でまちづくり資料集の説明と併せて、町内会の取組事例や課題の共有が図れるよう取り組む。また、協働ひろばに集約されているまちづくり情報の発信について、引き続き公式SNSの運用によって多くの市民にタイムリーな情報が届けられるよう努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
まちづくり情報事業	まちづくり協働課	○	様々なまちづくり情報を、各主体に合わせ手法を工夫しながら発信したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業

■施策評価シート 22-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	9  17 
施策番号	22-01-②	施策名	行政情報の提供

施策の概要

市民による活発なまちづくり活動が展開されるよう、行政情報を提供します。

成果指標(単位)	ホームページアクセス数(万件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	800	830	860	890
実績値	797	1,095	650	585	511

成果指標実績に対するコメント

市ホームページのアクセス数は、目標値の57%の511万件となり、目標値は達成できなかった。原因としては、新型コロナウイルス感染症関係情報と分析しており、令和2年度から令和4年度までに、アクセス順位TOP20位に複数入っていた新型コロナウイルス感染症関係情報が、令和5年度以降では順位外であったことから、市民の新型コロナウイルス感染症への関心が落ち着き、アクセス総数はコロナ禍前の状態に戻ったと考える。新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年度(524)と比較すると横ばいとなっており、平常時においても必要な情報を市民へ届けるホームページの運営が行えたものとする。

施策の達成度評価

市ホームページは、ブランディングエリアやアクセスランキングを定期的に更新するなど、必要な情報を探しやすいホームページづくりに努めた。また、広報紙やSNSではQRコードや市ホームページのリンクを貼るなど、市ホームページと連動させた情報発信を行った。令和6年12月からは市長のAvatarによる動画配信を開始し、さらなる情報発信に取り組んだ。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

引き続き、誰もが分かりやすく情報を入手できる、市ホームページの運営に努めるとともに、市民が必要な情報を様々な媒体から入手できるように、広報紙、LINEやFacebook、X(Twitter)といったSNSなどと連携させた情報発信を行っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
広報くさつ発行事業	広報課	○	市が推進する施策や計画、市政の現状を市民に周知するため、広報紙を毎月、全世帯に発行することにより、市民と情報を共有することができたため。
シティセールス推進事業	広報課	○	たび丸の活用やKUSATSU BOOSTERSとの連携、シティプロモーションのツールの作成、市制施行70周年記念誌の発行等の活動により、市内外に向けて草津市の魅力を発信することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
インターネット広報事業	広報課
パブリシティ推進事業	広報課
ふるさと寄附運営事業	広報課
広報映画制作事業	広報課
市長への手紙事務	広報課
人にやさしい広報作成事業	広報課
放送委託事業	広報課
市制施行70周年記念事業推進事業	企画調整課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 22-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	22-02-①	施策名	産学公民の連携によるまちづくりの展開

施策の概要

複雑化する課題に対して、産学公民の多様な知見を持ち寄り、共有を図りながら、未来のまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	12.5	12.9	13.3	13.7
実績値	12.1	12.1	10.8	11.6	12.4

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は前年度に比べ0.8ポイント増加した。目標値を達成することができなかったものの、南草津のまちづくりをテーマに産学公民の多様な主体の連携により社会実験を実施するなどの取組みが市民の評価につながったものとする。

施策の達成度評価

産学公民の様々な立場の者が話し合えるプラットフォームとして、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)を運営しており、事業プロジェクトや各種セミナー等を通じて、新たな交流機会の創出やまちづくりの発想等に繋がっている。都市デザインマネジメントスクールにおいて産学公民の各主体の参画により社会実験を実施できたことは評価できるが、多様な連携・交流の強化を図るため、住民等への認知も高めていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

令和7年9月に一般社団法人を設立することを踏まえ、市は法人化したUDCBKに連携・交流に係る業務を委託し、法人は産学公民の多様な主体が連携・交流できるようにコーディネートするなど、プラットフォームとしての機能の向上を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
アーバンデザインセンター運営事業	草津未来研究所	○	産学公民のそれぞれの知見を活かした学習事業等の展開を行い、参加者が自発的にまちづくりを考える機会を提供することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津未来研究所運営事業	草津未来研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 22-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	22-02-②	施策名	都市間交流の促進

施策の概要

多様な人々との交流を展開するため、姉妹都市等との交流など、市民間での都市間交流が活発になるよう、情報提供をしていきます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		12.5	12.9	13.3	13.7
実績値	12.1	12.1	10.8	11.6	12.4

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査では、目標値を達成することはできなかったが、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は昨年度より0.8ポイント増加した。令和6年度は、草津市市制70周年の年であり、宿場まつりでの国内姉妹都市・友好交流都市ブースの出展や、伊達市との交流事業としてハス里帰りプロジェクトの実施などの、対面での市民間交流が実施できたことが要因と考えられる。

施策の達成度評価

国内での都市間交流について、伊達市と友好交流都市協定締結10周年を迎え、クリスマスブーツでの交流やみらいKIDSにぎわい交流事業、ハス里帰りプロジェクトなど、交流を深めることができた。また、宿場まつりでの伊達市、観音寺市、草津町のブースの出展を通じて、更なる友好関係の構築を図るとともに、市民に対して姉妹都市・友好交流都市についての周知を行うことができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

伊達市および観音寺市との交流については、市民活動団体が継続的に関わっており、市民間での交流事業を行っている。今後とも広く市民に都市間交流についての情報発信を行うとともに、市民間の都市間交流が進むよう市の関わり方について工夫する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
姉妹都市等交流事業	まちづくり協働課	○	姉妹都市・友好交流都市との交流事業を実施し、都市間交流を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事